

中国とインターネット

埼玉県の皆様、はじめまして。私は、埼玉親善大使として一年間山西大学に留学させていただくことになった湯浅真澄と申します。まずは、今回留学の機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。ところで、皆さんは中国に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。正直、あまり良くないイメージをお持ちの方も少なくはないのではないかと思います。しかし、実際に中国がどんな国なのかはよく知らない、という人も多いのではないのでしょうか。これから毎月、私が中国で留学生活をするにあたって気づいたことや感じたことを率直に皆さんにお伝えすることができれば、と思います。日中関係が良くないといわれている今だからこそ、メディアを通さないリアルな中国の姿を日本の皆さんにお見せしたいです。

今回は、中国とインターネットの関係についてお話します。ここ数十年で著しい経済発展を遂げた中国ですが、それとともに、インターネットも国民に急速に普及しました。もちろん日本でも、今やインターネットは生活に欠かせないものです。しかし、中国では日本よりもより生活に密着した形でインターネットが使われているように感じます。

例えば、日本でいう「LINE」にあたる「微信（ウェイシン、またはWe Chat）」は、中国では誰もがスマートフォンに入れているアプリです。このアプリ内では、自分のお金を銀行口座からチャージして、バーコードを読み取ることで、買い物の代金を支払ったり、友達とお金のやり取りをしたりすることができます。大学内の学食でご飯を買うとき、学生はみなたったの数十元（約160円）でも「微信」を使って代金を支払います。もちろん、街でショッピングをするときも「微信」で全て済ませられるので、外出の際に財布を持たない人も多いです。また、友人と外食をする際は、割り勘して後で友達に簡単にお金を返すことができます。ぴったりの金額がないから返せない、なんてこともありません。

ネットショッピングの普及も顕著です。例えば大学内では、小さな段ボール箱を持って歩いている学生をよく見かけます。これは、大学寮に住んでいる学生がネットショッピングで購入した商品を受けとったものです。大学内での受け取りが可能で、何でも手軽に安く買えるので、化粧品からお菓子に至るまで、どんなに些細なものでも学生はネットショッピングを利用します。

街を歩くと、黄色やオレンジ、緑などの同じ色形をした自転車が並んでいるのをよく見かけます。これは、自転車のシェアです。自転車についているバー

コードをスマートフォンで読み取って、お金を支払うことによって誰でも使うことができます。料金も高くなく、好きなところから乗って好きなところで乗り捨てることのできるの、非常に使い勝手がいいです。

私の中国人の友達が「中国人は便利なものが大好き」と言っていましたが、それは本当なのかもしれませんね。個人的には、広大な面積と莫大な人口を持つ中国では、新しいものややり方が浸透し一般化するのに時間がかかりそう、というイメージを持っていました。しかし、以外にも中国の人々は新しいものをすんなりと生活に取り入れ、受容する、という性格があるようです。むしろ、莫大な人口を抱える国だからこそ、いかに効率よく、便利に生活するのが重要になってくるのでしょうか。いずれにせよ、これらのインターネットを使ったシステムは、確実に中国の人々が生活しやすくするのを助けています。



↑大学近くにある自転車シェア。少し歩けば見ないことはないというほど普及が進んでいて、非常に驚きました。